

まごころ通信

Vol.10 2005 2月

認知症とは、これまで「痴呆(ちほう)」とよばれてきた病気です。
認知症は脳の病気であり、すべての人が直面するかもしれない病気です。

■認知症とはどんな病気なのでしょうか？－大きく分けると2つのタイプがあります。混合型もあります－

	アルツハイマー型痴呆	脳血管性痴呆
原 因	脳の萎縮により機能が損なわれる	脳梗塞・脳出血などの脳の血管障害によっておこる
発 症 年 齢	70歳以上に多い	60～70歳に多い
男 女 比	女性に多い	男性に多い
自 覚 症 状	なし	頭痛、めまい、物忘れ、四肢のしびれなど
経 過	少しづつ確実に進行する	段階的によくなったり悪くなったりする
合併する病気	なし	高血圧、糖尿病、心疾患、動脈硬化など
特徴的な症状	落ち着きがなくなる、多弁など	感情失禁、うつ状態、せん妄など

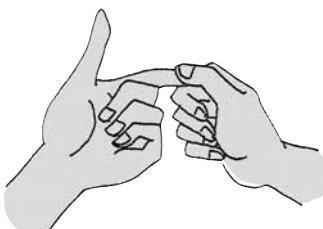
■健康なもの忘れと認知症のもの忘れの違い



■指先体操で脳の中を流れる血液量を増やし、脳の老化を防ぎましょう！



指をあわせて両側から押し合う。



指を1本ずつそらす。



指の付け根をもむ。

健康福祉課(城里町常北保健福祉センター内)

029-240-6550(直通) 029-288-3111(代表) 保健師まで

「まごころ通信」で取り上げてほしい内容を募集しています。次回3月号のまごころ通信は禁煙についてです